



## 平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月8日

上場取引所 東

上場会社名 生化学工業株式会社

コード番号 4548 URL <http://www.seikagaku.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 水谷 建

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 関 広之

TEL 03-5220-8950

四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日

配当支払開始予定日

平成23年12月2日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	13,795	△0.6	3,213	78.6	3,183	85.4	2,109	79.1
23年3月期第2四半期	13,882	△0.6	1,799	△37.1	1,717	△38.5	1,178	△37.8

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 1,892百万円 (141.1%) 23年3月期第2四半期 784百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	37.13	—
23年3月期第2四半期	20.74	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	64,453		57,289		57,289	88.9
23年3月期	62,684		56,106		56,106	89.5

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 57,289百万円 23年3月期 56,106百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金					合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	円 銭	
23年3月期	—	12.50	—	12.50	25.00	25.00
24年3月期	—	12.50	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	12.50	—	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,000	△0.4	4,700	33.0	4,800	15.4	3,200	30.5	56.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、【添付資料】P.3「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	58,584,093 株	23年3月期	58,584,093 株
24年3月期2Q	1,776,689 株	23年3月期	1,776,565 株
24年3月期2Q	56,807,467 株	23年3月期2Q	56,807,693 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料の発表日現在において想定できる経済情勢、市場動向などを前提として作成したものであり、今後様々な要因により、予想と異なる結果となる可能性があります。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料は、平成23年11月8日より当社ホームページに掲載しています。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) セグメント情報 .....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（平成23年4月1日～平成23年9月30日）の売上高は、前年同期とほぼ同程度の137億9千5百万円（前年同期比0.6%減）となりました。これは、国内医薬品の減少を海外医薬品の数量増やヒアルロン酸原体の増加でカバーしたものの、円高の影響を受けたことによるものです。

利益につきましては、高萩工場第4製剤棟の減価償却費等の原価減少などにより売上総利益が増加したことに加え、前年同期の「SI-6603」国内治験費一括計上の様な特別な要素が当累計期間はなかったこと、及び予定していた米国治験費が第3四半期以降に繰り越されたことによる研究開発費の減少があり、営業利益は32億1千3百万円（前年同期比78.6%増）、経常利益は31億8千3百万円（同85.4%増）、四半期純利益は21億9百万円（同79.1%増）となりました。

### セグメント別の売上概況

#### <医薬品>

##### ・国内（93億3千万円、前年同期比1.0%減）

関節機能改善剤アルツの国内市場は、高齢者人口の増加や販売提携先の科研製薬株式会社とともに推進している疾患啓発活動の継続により拡大しましたが、東日本大震災の影響による受診手控え傾向が見られ、伸び率は前年同期よりも低下しました。このような中、アルツについては、先発品としてのブランド力を活用した拡販に注力したことで医療機関納入本数が増加し、市場シェアは拡大しました。一方、当社の売上は、前年同期のプラスチック容器の新規投入により、販売提携先向けの出荷が高水準であったことから減少しました。

眼科手術補助剤オベガンは、販売提携先の参天製薬株式会社と連携して、引き続きターゲットを絞った販売促進活動に努めましたが、震災の影響による白内障手術件数の減少や競合激化により、医療機関納入本数及び当社の売上は減少しました。

内視鏡用粘膜下注入材ムコアップについても、震災の影響による内視鏡手術件数の伸び悩みが見られましたが、販売提携先のジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社とともに、内視鏡手術の手技を浸透させる啓発活動に注力したこともあり、売上を伸ばしました。

##### ・海外（16億5千万円、前年同期比1.3%増）

米国向けスパルツの現地販売は、保険会社による償還厳格化の影響がほぼ一巡したことや、比較的販売価格が高いスペシャリティーマシー（医薬品卸会社）経由の販売増加などにより、前年同期と同程度となりました。当社の輸出売上は、数量ベースでは増加したものの、円高の影響により減少しました。

一方、中国向けは、主要都市を中心とした医療機関で高い品質や世界初のオリジナル製品であることが評価されており、引き続き売上を伸ばしました。また、ヨーロッパ向けも、震災の影響により前期末出荷予定分を当累計期間に繰り越したことなどにより増加しました。

これらの結果、医薬品の売上高は109億8千1百万円（同0.7%減）となりました。

#### <機能化学品>

海外での品質管理向けエンドトキシン測定用試薬などが堅調に推移したことや、ヒアルロン酸原体が増加したものの、円高に加え、前年同期に実施した体外診断用医薬品事業譲渡の影響があり、機能化学品の売上高は28億1千4百万円（同0.5%減）となりました。

(2) 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期までの実績及び現時点で見通すことの出来る諸要素を織り込んで、平成23年5月11日に発表した平成24年3月期連結業績予想を以下のとおり修正しました。

売上高は、米国及び中国向け医薬品の出荷が順調に推移するものの、円高の影響に加え、国内医薬品が震災の影響等により減少することから、前回予想を下回る見込みです。

利益につきましては、実態を踏まえた研究開発費の見直しや販売関連費用の下振れにより、販売費及び一般管理費が減少する見通しですが、売上総利益の減少をカバーするに至らず、さらに円高に伴う外貨建資産の評価等に関する為替差損などの増加を見込むことから、営業利益、経常利益、当期純利益ともに、前回予想を下方修正しました。

以上により、売上高は270億円（前回予想比3.6%減）、営業利益47億円（同2.1%減）、経常利益48億円（同5.9%減）、当期純利益32億円（同3.0%減）を予想します。

なお、研究開発費の予想は57億円（同3.4%減）で対売上高比率は21.1%となります。

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	28,000	4,800	5,100	3,300	58.09
今回修正予想 (B)	27,000	4,700	4,800	3,200	56.33
増減額 (B - A)	△1,000	△100	△300	△100	—
増減率 (%)	△3.6	△2.1	△5.9	△3.0	—
前期実績 (平成23年3月期)	27,117	3,533	4,159	2,451	43.16

注) 第3四半期以降の連結業績予想の為替レートは、前回想定レートの対米ドル83円から77円に変更しています。

2. サマリー情報 (その他) に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、見積実効税率に係る法人税等調整額は、法人税、住民税及び事業税に含まれております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,746	7,199
受取手形及び売掛金	7,458	8,033
有価証券	6,214	9,323
商品及び製品	2,486	2,611
仕掛品	781	827
原材料及び貯蔵品	859	868
繰延税金資産	679	692
その他	1,488	991
貸倒引当金	△1	△3
流動資産合計	26,714	30,546
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	13,857	13,853
減価償却累計額	△8,604	△8,795
建物及び構築物（純額）	5,253	5,057
機械装置及び運搬具	10,470	10,564
減価償却累計額	△8,148	△8,535
機械装置及び運搬具（純額）	2,322	2,028
土地	801	801
リース資産	1,436	1,469
減価償却累計額	△638	△747
リース資産（純額）	798	722
建設仮勘定	576	1,282
その他	2,549	2,725
減価償却累計額	△2,008	△2,141
その他（純額）	540	584
有形固定資産合計	10,292	10,476
無形固定資産		
その他	330	278
無形固定資産合計	330	278
投資その他の資産		
投資有価証券	23,391	22,244
長期貸付金	240	220
繰延税金資産	130	129
その他	1,849	803
貸倒引当金	△264	△244
投資その他の資産合計	25,346	23,152
固定資産合計	35,969	33,907
資産合計	62,684	64,453

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	977	997
リース債務	210	200
未払法人税等	448	1,051
賞与引当金	629	640
災害損失引当金	343	197
その他	2,163	2,484
流動負債合計	4,773	5,569
固定負債		
長期借入金	700	700
リース債務	573	501
繰延税金負債	349	210
資産除去債務	83	84
その他	96	98
固定負債合計	1,803	1,594
負債合計	6,577	7,164
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,840	3,840
資本剰余金	5,301	5,301
利益剰余金	49,154	50,553
自己株式	△2,077	△2,077
株主資本合計	56,219	57,618
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	669	438
為替換算調整勘定	△781	△767
その他の包括利益累計額合計	△112	△329
純資産合計	56,106	57,289
負債純資産合計	62,684	64,453

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	13,882	13,795
売上原価	5,409	4,933
売上総利益	8,473	8,861
販売費及び一般管理費		
販売手数料	983	953
人件費	827	846
賞与引当金繰入額	194	184
退職給付費用	34	48
研究開発費	3,484	2,422
その他	1,147	1,192
販売費及び一般管理費合計	6,673	5,648
営業利益	1,799	3,213
営業外収益		
受取利息	109	106
受取配当金	86	92
受取ロイヤリティー	—	5
その他	69	47
営業外収益合計	264	251
営業外費用		
支払利息	24	20
為替差損	316	176
投資有価証券評価損	—	50
固定資産除却損	4	9
その他	0	24
営業外費用合計	346	280
経常利益	1,717	3,183
特別損失		
災害による損失	—	71
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	51	—
特別損失合計	51	71
税金等調整前四半期純利益	1,666	3,112
法人税、住民税及び事業税	489	1,002
法人税等調整額	△0	0
法人税等合計	488	1,003
少数株主損益調整前四半期純利益	1,178	2,109
四半期純利益	1,178	2,109

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,178	2,109
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△302	△230
為替換算調整勘定	△90	13
その他の包括利益合計	△393	△217
四半期包括利益	784	1,892
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	784	1,892
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

I 前第2四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	医薬品	機能化学品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	11,054	2,828	13,882	—	13,882
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	31	31	△31	—
計	11,054	2,859	13,914	△31	13,882
セグメント利益	1,116	682	1,799	—	1,799

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	医薬品	機能化学品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	10,981	2,814	13,795	—	13,795
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	42	42	△42	—
計	10,981	2,857	13,838	△42	13,795
セグメント利益	2,324	888	3,213	—	3,213

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。